

令和2年4月3日

中村高等学校西土佐分校

生徒・保護者 様

高知県立中村高等学校長

令和2年度の始業と新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策について

ご存じのように、県内では一旦沈静に向かうかと思われた新型コロナウイルス感染症も、東京や大阪などの都市部においては感染者数が増加しており、本校の通学区域内においても昨年度末から感染者が複数報告されました。都市部においては休校の継続の学校もありますが、高知県教育委員会としては、県立学校については、次の3件（いわゆる「三密」）について、同時に重なる場を回避するように努めることを前提として、県立学校を再開することとしました。

- ① 換気の悪い密閉空間にしないための換気を徹底する（密閉）
- ② 多くの人が手の届く距離に集まらないよう配慮する（密集）
- ③ 近距離での会話や大声での発声をできるだけ控える（密接）

再開にあたって、本校としましては、登下校時や教室等の入退室時のアルコール消毒液による洗浄、マスクの着用を促すとともに、教室の座席などを可能な範囲で間隔をあけたり、休み時間に窓を開けて換気をしたりするよう努めてまいります。また、生徒の健康状態の把握のため、令和2年4月2日の高知新聞朝刊でも報道のあったとおり、登校する前に自宅において生徒自らが検温を行い、登校後記録を残すよう求めます。その際に体温37.5℃以上であった場合や発熱や咳などの風邪の症状で心配がある場合は、自宅で待機のうえホーム担任に電話で相談し、指示を受けてください。その際の欠席については、「校長が出席しなくてもよいと認められた日」とすることができますのでご安心ください。

なお、学校も健康管理に努めますが、ご家庭におかれましても、お子様の体調管理にご配慮くださいますようお願いいたします。